

平成23年政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>		気候変動による水質への影響解明、適応策検討調査費		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成21~24年度(予定)		<b>担当課室</b>	水環境課		水環境課長 吉田 延雄		
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		気候変動が公共用水域の水質及び生態系に与える影響を適切に把握するとともに、将来の気候変動に伴う水環境変化の予測を行い、想定される影響に対して適切な対策を講じることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動が公共用水域の水質等に与える影響について、既存の研究調査、長期トレンドデータ等を収集し、過去における気候変動と水温上昇、及び水質変動等の分析。</li> <li>・気候変動に伴う公共用水域の水理・水温・水質等の変動を予測するため、モデル水域を選定しシミュレーションモデルによる定量的な影響予測評価を実施。</li> <li>・気候変動による生態系への影響を解明するため、特異現象、レジームシフト等の情報収集・整理・分析を実施。</li> </ul>							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算		12	12	18	11	
			補正予算		0	0	0		
			繰越し等		0	0	0		
			計		12	12	18	11	
		執行額		10	9				
執行率 (%)		83.3%	75.0%						
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		気候変動の影響と適応策検討を行う事業であるため、定量的な成果目標の設定が困難		成果実績					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		気候変動の影響と適応策検討を行う事業であるため、定量的な活動指標の設定が困難		活動実績 (当初見込み)			全国水域の水温 上昇状況調査	湖沼における影響 検討	
<b>単位当たり コスト</b>		(円/ )		算出根拠	※気候変動に伴う水環境変化の予測を行い、想定される影響に対する適応策を検討目的としているため単位あたりコストは算出困難				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	18	11	検討経費の削減を図り、要求額を減額する。					
	計	18	11						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・生態系に関する調査資料については、河川水辺の国勢調査等のデータを活用することにより、検討内容の充実及び効率化を図る。</p> <p>・アジア水環境パートナーシップ(WEPA)等において、本事業の成果をインプットするとともに、各種の国際会議で成果を積極的に公表し、気候変動と水環境問題に係る意識啓発や知識普及を図っていくことが重要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	継続的事业であり、事業内容を今一度精査すること等により、予算要求額を削減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
検討経費の削減を図り、要求額を減額する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省  
9百万円

〔事業の企画立案〕



【総合評価入札】

A. パシフィックコンサルタンツ(株)  
9百万円

〔  
・気候変動による水質等への影響解  
明調査・検討  
・学識者からなる検討会の設置・運営  
〕

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A. パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	気候変動による水質等への影響 解明調査	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ(株)	気候変動による水質等への影響解明調査・検討	9	1	非公表